

平成28年定期総会議案書

日 時：平成28年7月9日（土）

午後13時～午後13時30分

場 所：こうべまちづくり会館3F

定期総会式次第

開会のことば

資格審査報告および総会成立宣言

議長選出

議 事

第1号議案「平成27年度（第12期）事業経過報告および会計決算報告」

第2号議案「平成27年度（第12期）会計監査報告」

第3号議案「平成28年度（第13期）事業計画案および会計予算案」

議長解任

閉会のことば

引き続き14時から、第44回研修会を開催します。

講演者 眞弓孝之氏（国土防災技術㈱ 技術本部第二・第三技術開発センター長）

『「避難行動疑似体験教材EVAG」による地域防災の課題抽出』

14:00～17:00 講演および質疑応答

特定非営利活動法人 都市災害に備える技術者の会

【第1号議案】「平成27年度（第12期）事業経過報告および会計決算報告」

1. 事業内容

1.1 活動内容

活動は、①WG 活動の実施、②研修会、③出前授業・出前講習会の活動を中心に行いました。

① WG 活動の実施

ボランティアな組織である NPO は、会員の WG 活動で成り立っています。WG 活動の状況は、ホームページ (<http://toshisaigai.net/katudou.html>) によって、会員および一般市民に情報発信するようにしています。議事録等がアップロードされ更新された情報については、メーリングリスト (owner-toshisaigai-ml@toshisaigai.net) で会員に逐次お知らせするようにしています。

例会は、現在各 WG で活動する方々が重複しているため、WG-D の草の根防災活動に集約して概ね2ヶ月に1度の割合で、旧大阪事務所を主な会場として例会を開催しています。

② 研修会

27年度は、7月に開催した第39回研修会「人口減少時代の新しい防災の姿」～阪神・淡路大震災、東日本大震災を踏まえて～」牧 紀男 先生（京都大学防災研究所 都市防災計画分野 教授）をはじめ、第40回研修会「被災地発☆災害派遣3年間の経験から見えてきたもの」小西未年彦氏（泉南市危機管理課）、第41回研修会「災害時応援受援体制を考える～受け入れる側の受援計画と体制整備」木村玲欧先生（兵庫県立大学）、第42回研修会「巨大災害に向けた近畿地方整備局の取り組み」田中貢氏（国交省近畿地方整備局総括防災調整官）を実施しました。

③ 出前授業・出前講習会等

出前講習は、向井顧問、伊藤理事長、片瀬理事、太田理事などが出前授業および出前講習会を開催しました。また、京都市の技術職員を対象とした技術研修「のり面における安全性の評価手法－土層検査棒の現場研修－」と、神戸市の技術職員を対象とした「土層強度検査棒説明会」に講師派遣をしました。

④ 広報活動

ニューズレターを月一回のペースで発行しました。

個別の活動記録は、下表にまとめましたので、参考にしてください。

特定非営利活動に係る事業 一覧表（平成 27 年度）

| 定款の事業名 | 事業内容 | 実施日 | 場所 | 従事者数 | 受益対象者の範囲及び人数 |
|-------------------|---|----------------------|---------------------|------|------------------------------------|
| 災害予防・災害発生後の対策提案 | 泉南市防災技術者の会防災講演会「東日本大震災～気仙沼市からの報告～」講師：伊藤東洋雄氏 | 平成 27 年 5 月 22 日 | あいびあ泉南 | 1 名 | 泉南市防災技術者の会 10 名 |
| 災害予防・災害発生後の対策提案 | 日本技術士会近畿本部防災研究会特別講演会「東日本大震災～気仙沼市からの報告～」講師：伊藤東洋雄氏 | 平成 27 年 6 月 2 日 | 日本技術士会近畿本部会議室 | 1 名 | 日本技術士会近畿本部防災研究会会員 21 名 |
| 防災・減災対策の研究および啓蒙活動 | 日本技術士会近畿本部建設部会特別講演 向井通彦先生（当 NPO 顧問）「初代心齋橋」のゆくえ | 平成 27 年 7 月 4 日 | 大阪府立大学 I-site なんば | 1 名 | 29 名 |
| 防災・減災対策の研究および啓蒙活動 | 第 39 回研修会 防災講演会 牧 紀男先生（京都大学防災研究所 都市防災計画分野 教授）「人口減少時代の新しい防災の姿」～阪神・淡路大震災、東日本大震災を踏まえて～ | 平成 27 年 7 月 11 日 | こうべまちづくり会館 | 1 名 | 会員 17 名、非会員 14 名、合計 31 名 |
| 防災・減災対策の研究および啓蒙活動 | 近畿大学 理工学部社会環境工学科 防災出前授業：『阪神・淡路大震災そして東日本大震災から学んだこと』講師：片瀬範雄氏 | 平成 27 年 7 月 23 日 | 近畿大学 33 号館 | 1 名 | 理工学部社会環境工学科 1 学年生 75 名 |
| 防災・減災対策の研究および啓蒙活動 | 第 40 回研修会 防災講演会 講師：小西未年彦氏（泉南市危機管理課）演題：「被災地発☆災害派遣 3 年間の経験から見えてきたもの」 | 平成 27 年 10 月 11 日 | ドーンセンター | 1 名 | 28 名 |
| 防災・減災対策の研究および啓蒙活動 | 防災講演会（日本技術士会近畿本部防災研究会）テーマ：まちぐるみで取り組む防災・減災 講師：向井通彦氏（前泉南市長） | 平成 27 年 10 月 13 日 | 日本技術士会近畿本部会議室 | 1 名 | 技術士 21 名 |
| 防災・減災対策の研究および啓蒙活動 | 日本技術士会 CPD ミニ講座（WEB）テーマ：「異常気象と土砂災害」講師：太田英将氏 | 平成 27 年 11 月 11 日 | 日本技術士会近畿本部会議室 | 1 名 | 技術士近畿 19 名 東京約 50 名 中国 10 数名 |
| 防災・減災対策の研究および啓蒙活動 | 第 3 回 王寺町泉の広場避難訓練『クロスロードゲーム 主催：王寺町『泉の広場』避難所運営委員会 | 平成 27 年 11 月 15 日 | 奈良県文化会館 2 階 | 1 名 | 奈良県技術士懇談会会員 26 人 |
| 災害予防・災害発生後の対策提案 | 平成 27 年度京都市建設局技術職員研修「のり面における安全性の評価手法－土層検査棒の現場研修」講師：太田英将氏 | 平成 27 年 12 月 2 日 | エコランド音羽の杜 | 1 名 | 京都市技術職員約 40 名 |
| 防災・減災対策の研究および啓蒙活動 | 第 41 回研修会 防災講演会講師：木村玲欧先生（兵庫県立大学）演題：「災害時応援受援体制を考える～受け入れる側の受援計画と体制整備」 | 平成 27 年 12 月 19 日 | 読売新聞大阪本社「ギャラリーよみうり」 | 5 名 | 聴講者 45 名 |
| 防災・減災対策の研究および啓蒙活動 | 奈良県天理市式上六ヶ町 防災減災講演会「今、自主防災組織に求められること～大災害での活動体験談を踏まえて～」講師：伊藤東洋雄氏 | 平成 28 年 1 月 16 日 | 奈良県天理市遠田町 式上公民館 | 1 名 | 住民 71 名ほか行政職 2 名 |
| 災害予防・災害発生後の対策提案 | 神戸市 テーマ「のり面における安全性の評価手法－土層強度検査棒説明会－」講師：太田英将氏 | 平成 28 年 2 月 26 日 | 神戸まちづくり会館 | 2 名 | 神戸市技術職員 4 名 |
| 防災・減災対策の研究および啓蒙活動 | 第 42 回研修会 防災講演会 講師：田中貢氏（国交省近畿地方整備局総括防災調整官）演題：『巨大災害に向けた近畿地方整備局の取り組み』 | 平成 28 年 3 月 20 日 | 読売新聞大阪本社「ギャラリーよみうり」 | 5 名 | 聴講者 42 名 |

平成 27 年度（第 12 期）NPO 法人都市災害に備える技術者の会

会計決算報告書（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

特定非営利活動に係る決算報告書

（単位 円）

| 区分 | 項目 | 予算 | 決算 | 差額 | 備考 |
|----|-----------|-----------|-----------|---------|--------|
| 収 | 会費・入会金収入 | 220,000 | 255,000 | 35,000 | 会費、入会金 |
| | 受託業務 | 0 | 0 | 0 | |
| 入 | 前年度からの繰越金 | 2,617,935 | 2,693,633 | 75,698 | |
| | 雑収入 | 43 | 26 | -17 | 利息 |
| | 収入合計 | 2,837,978 | 2,948,659 | 110,681 | |

| | 項目 | 予算 | 決算 | 差額 | 備考 |
|-----------------------|---|------------------|------------------|----------------|------------------|
| 支 | 事業費 | 350,000 | 257,905 | -92,095 | |
| | (1)市民の立場にたった防災・減災対策の研究および啓蒙活動 | 20,000 | 0 | -20,000 | 防災講習講師費等 |
| | (2)災害の予防から始まり、災害発生後およびその後の対処法まで含めた一貫性をもった対応への相談および対策の提案 | 20,000 | 0 | -20,000 | |
| | (3)災害発生時の緊急時において、専門家集団としての行政および市民への提言 | 60,000 | 5,307 | -54,693 | WG活動費 |
| | (4)災害時要援護者に対する防災・減災を実現するための提案 | 20,000 | 0 | -20,000 | |
| | (5)防災・減災イベントへの参加及び講演会や研修会等の開催 | 180,000 | 232,294 | 52,294 | 研修会等 |
| | 会場借用料 | 60,000 | 10,400 | -49,600 | |
| | 印刷費等 | 40,000 | 125,374 | 85,374 | 防災講演会カー資料印刷 |
| | 講師旅費 | 60,000 | 90,000 | 30,000 | 会員外の講師旅費 |
| | 通信費 | 20,000 | 6,520 | -13,480 | 会員へのメール便送料 |
| | その他 | 0 | 0 | 0 | |
| | (6)防災・減災に関する教育活動の企画・運営・人材の派遣 | 30,000 | 0 | -30,000 | 講師派遣（交通費等は依頼先負担） |
| | 出 | 前号の活動にかかる費用 | 20,000 | 20,304 | 304 |
| ウェブサイト費用 | | 20,000 | 20,304 | 304 | |
| 管理費 | | 110,000 | 72,819 | -37,181 | |
| 会議費 | | 10,000 | 0 | -10,000 | |
| 旅費交通費 | | 10,000 | 0 | -10,000 | |
| 備品等整備費 | | 10,000 | 1,944 | -8,056 | 事務用品（マル椅子） |
| 消耗品費 | | 10,000 | 9,980 | -20 | EVAG購入費 |
| 登記手数料 | | 60,000 | 51,180 | -8,820 | 決算・理事再任登記費用 |
| 交際費 | | 0 | 0 | 0 | |
| 支払い手数料(事務局費) | | 10,000 | 9,715 | -285 | 事務諸費用 |
| 予備費 | 0 | 0 | 0 | | |
| 支出合計 | 460,000 | 330,724 | -129,276 | | |
| | (単年度収支) | ▲ 239,957 | ▲ 75,698 | | |
| 当期収支差額（次年度繰越金） | | 2,377,978 | 2,617,935 | 239,957 | |

【第2号議案】「平成27年度（第12期）会計監査報告」

平成27年度（第12期） NPO法人都市災害に備える技術者の会 会計監査報告書

私たち会計監査は、平成27年度（第12期）NPO法人都市災害に備える技術者の会
会計の処理が、適正に実施されているか否かを監査いたしました。その結果、会計処理
は適正かつ正確に行われていたことを下記の通りご報告いたします。

記

1. 監査実施日時 平成28年 5月20日
2. 監査帳簿類 活動計算書
貸借対照表
仕訳日記帳
総勘定元帳
当期の証票（領収証）
預金通帳

平成28年 5月20日

監事

山田信祐 

平成28年 5月20日

監事

北高穂 

【第3号議案】「平成28年度（第13期）事業計画案および会計予算案」

1.事業計画

本年度は、昨年度に引き続き WG 活動および防災講演会、出前講習会への講師派遣などを中心に活動するとともに、熊本地震などへの住民相談などに会員を派遣するなど貢献していきたいと考えています。

特定非営利活動に係る事業

【会員向け活動】

1.研修会

概ね4回程度研修会を開催したいと思います。参加は会員のみならず、技術士会・防災士会・マスコミや一般市民へも呼びかけます。

2.メールマガジン・ニュースレターの活用

即時性を重視し、WEB とメールマガジンによる情報発信形態に切り替えていきます。ニュースレターは、会員からの投稿を中心に作成し、できるだけ月1回の発行を目指していきます。

3.ワーキンググループの活動

これまで通り、当 NPO 活動の中心として活動を行っていきます。

【社会に向けた活動】

1.講師派遣

ご依頼に応じて防災講演等に会員等を派遣します。

2.WEB 等での広報

前年度同様にイベント案内や報告をホームページやメールマガジンで情報発信するほか、各WGの活動内容も公表します。また、ニュースレターだけでなく紙のパンフレットを作成して広報に努めます。

3.市民からの相談に答える

WEB に相談窓口を設け、WG メンバーが中心となって一般市民からの相談事にも対応していきます。

4.防災啓発本 『(仮称) 土地を買う前に読む本・家を建て替える前に読む本』出版事業

遅滞していますが、WEB 公開を徐々に進めていきたいと思っています。

5.マスコミとの連携

関西のマスコミの防災担当者の勉強会である「関西なまずの会」に積極的に参加させていただき、情報発信をより活発化させていきたいと考えています。

平成 28 年度（第 13 期）NPO 法人都市災害に備える技術者の会

会計予算案（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

特定非営利活動に係る会計予算（案）

（単位 円）

| 区分 | 項目 | 前年度実績 | 予算 | 備考 |
|----|-----------|-----------|-----------|-----------------|
| 収 | 会費・入会金収入 | 255,000 | 255,000 | 正会員40、賛助1、新入会員3 |
| | 受託業務 | 0 | 0 | |
| 入 | 前年度からの繰越金 | 2,693,633 | 2,617,935 | |
| | 雑収入 | 26 | 20 | 利息 |
| | 収入合計 | 2,948,659 | 2,872,955 | |

| 区分 | 項目 | 前年度実績 | 予算 | 備考 |
|----|---|------------------|------------------|-------------|
| | 事業費 | 257,905 | 305,000 | |
| | (1)市民の立場にたった防災・減災対策の研究および啓蒙活動 | 0 | 5,000 | |
| | (2)災害の予防から始まり、災害発生後およびその後の対処法まで含めた一貫性をもった対応への相談および対策の提案 | 0 | 5,000 | |
| | (3)災害発生時の緊急時において、専門家集団としての行政および市民への提言 | 5,307 | 10,000 | WG活動費 |
| | (4)災害時要援護者に対する防災・減災を実現するための提案 | 0 | 5,000 | |
| | (5)防災・減災イベントへの参加及び講演会や研修会等の開催 | 232,294 | 230,000 | 研修会等 |
| | 会場借用料 | 10,400 | 30,000 | |
| | 印刷費等 | 125,374 | 130,000 | 防災講演会カー資料印刷 |
| | 講師謝礼旅費 | 90,000 | 60,000 | 会員外の講師への謝礼 |
| | 通信費 | 6,520 | 10,000 | 会員へのメール便送料 |
| | その他 | 0 | 0 | |
| | (6)防災・減災に関する教育活動の企画・運営・人材の派遣 | 0 | 30,000 | 講師派遣に係る費用 |
| | 前号の活動にかかる費用 | 20,304 | 20,000 | |
| | ウェブサイト費用 | 20,304 | 20,000 | プロバイダ料金等 |
| | 管理費 | 72,819 | 95,000 | |
| | 会議費 | 0 | 10,000 | |
| | 旅費交通費 | 0 | 10,000 | 旅費 |
| | 備品等整備費 | 1,944 | 30,000 | 封筒代、パンフレット代 |
| | 消耗品費 | 9,980 | 5,000 | |
| | 登記料 | 51,180 | 30,000 | 決算登記費用 |
| | 交際費 | 0 | 0 | |
| | 支払い手数料(事務局費) | 9,715 | 10,000 | 事務諸費用 |
| | 予備費 | 0 | 0 | |
| | 支出合計 | 330,724 | 400,000 | |
| | (単年度収支) | ▲ 75,698 | ▲ 144,980 | 単年度収入-支出 |
| | 当期収支差額（次年度繰越金） | 2,617,935 | 2,472,955 | |

定款 (通常総会に関連する部分の抜粋)

(開催)

第24条 通常総会は、毎事業年度1回開催する。

(招集)

第25条 総会は、前条第2項第3号の場合を除き、理事長が招集する。

(議長)

第26条 総会の議長は、その総会において、出席した正会員の中から選出する。

(定足数)

第27条 総会は、正会員総数の2分の1以上の出席がなければ開会することができない。

(議決)

第28条 総会における議決事項は、第25条第3項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。

2 総会の議事は、この定款に規定するもののほか、出席した正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(表決権等)

第29条 各正会員の表決権は、平等なるものとする。

2 やむを得ない理由のため総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について書面をもって表決し、又は他の正会員を代理人として表決を委任することができる。

3 前項の規定により表決した正会員は、前2条、次条第1項第2号及び第49条の適用については、総会に出席したものとみなす。

(議事録)

第30条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

(1)日時及び場所

(2)正会員総数及び出席者数(書面表決者又は表決委任者がある場合にあっては、その数を付記すること。)

(3)審議事項

(4)議事の経過の概要及び議決の結果

(5)議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が署名、押印または記名、押印しなければならない。

| | | | | |
|-----|-----|---|-----|--|
| 事務局 | 事務所 | 兵庫県西宮市すみれ台3丁目1番地 (太田ジオリサーチ内) Tel 078-907-3120 Fax 078-907-3123 | WEB | http://www.toshisaigai.net e-mail:office@toshisaigai.net |
| | 理事 | 伊藤 東洋雄 (理事長) 石川 浩次 (副理事長) 片瀬 範雄 (副理事長) 廣野 一道 太田 英将 (事務局長兼務) | 監事 | 山田信祐 北 高穂 |
| | 顧問 | 室崎 益輝 先生 河田 恵昭 先生 向井 通彦 先生 | | |

WG活動

| WG略称 | テーマ | 代表者 | 活動情報 |
|---------------------|-------------------|-------|--|
| 地震災害の軽減WG (WG-B) | 津波・地震災害軽減を 考える | 石川浩次 | 地震情報の収集や、他のイベントへの参加を行っています。WG-Dと合同で活動を行います。 |
| 地盤防災WG (WG-C) | 地盤防災を考える | 太田英将 | 活動を通じて関連ができた自治会などの造成地について危険谷埋め盛土の抽出を行います。WG-Dと合同で活動を行います。 |
| 草の根防災WG (WG-D) | 地域活動を考える | 伊藤東洋雄 | 幼稚園から大学までの防災・減災出前授業を行っています。他の団体(自主防災組織や防災団体など)と連携して活動しています。他のWGとも連携をとって活動していきます。 |
| 木造耐震WG (WG-E) | 木造家屋の耐震化 | 田原 賢 | 準備中 |